

第一回 昇降機セミナー

(昇降機性能評価の申請図書作成における留意点について)参加レポート

2024年3月5日

一般財団法人ベターリビング 広報部

去る2月1日、ベターリビングの主催による「第一回昇降機セミナー」を開催いたしました。セミナーのテーマは「戸開走行保護装置(UCMP)に関する大臣認定性能評価図書等の作成要領」です。

この日、ベターリビングの会議室には、昇降機業界から25社59名のお客様がお越しになりました。事前に必ずしも幅広い告知をしてはいませんでしたが、多数ご参加いただきましたことに深く感謝申し上げます。

「大臣認定性能評価図書等の作成要領」というテーマでの開催のため、今回は特に実務設計・開発分野の専門家の皆様に多く参加いただきました。

ベターリビングはこれまでも建築基準法に基づく昇降機の性能評価業務を実施してまいりましたが、大臣認定の申請図書に関して体系的に内容を網羅しながら具体的な書類の作成方法を説明するセミナーを開催したのは今回が初めてです。通常は個別のお問い合わせに対応してお伝えしていますが、今回はまとまったノウハウを予めお伝えする機会を設けました。3時間の長丁場でしたが、参加された皆様が集中を切らさず聴講いただいていた姿が印象的でした。



<セミナーの概要>

戸開走行保護装置 (UCMP) に関する大臣認定性能評価図書等の作成要領 講習会

講師：釜池 宏 ((一財) ベターリビング昇降機性能評価員)

金城 純彦 ((一財) ベターリビング認定・評価部参事役 (昇降機総括))

1) UCMP に関する法令・制度

シティハイツ竹芝エレベーター事故に端を発した UCMP の再発防止に関する関係法令・施行令の解説と、大臣認定制度の導入理由、法令用語の定義などをわかりやすく説明しました。

2) 大臣認定申請図書の構成

別紙や別添などの付属資料の構成や定義等を説明しました。

3) ロープ式エレベーター常時作動型二重ブレーキの別添作成要領

具体的に別添の記入用紙を用いて、その項目欄の定義と意味を解説しました。さらに、各項目にどのような情報を記載すればよいかを示す例を挙げながら、作成のポイントを解説しました。また、仕様に応じた記載要領や、制御システムのシステム構成図の例示についても解説しました。

- 4) ロープ式待機型ブレーキの場合・油圧式待機型逆止弁を採用した場合
3)の常時作動型二重ブレーキをベースそれぞれのタイプの変化点と作成要領を説明いたしました。
- 5) 別紙の記載方法
具体的に別紙の用紙を用いて、記入事例を紹介しながら作成のポイントを解説しました。
- 6) 構造機能説明書の記載方法
各タイプ別に記載例を提示し、作成のポイントを解説しました。
- 7) 大臣認定申請における電子申請への切り替えと対応方法
大臣認定の電子申請の手順について解説しました。申請手続きにおける評価機関（BL）の関わり方と対応についても説明しました。



講師：釜池 宏氏



講師：金城 純彦氏

参加された方からは「非常に勉強になった。定期的にこのような会を開催してほしい」「評価ルールや基準に変更、変化が発生した際にはまた開催してほしい」との感想とともに好評をいただきました。

ご参加ありがとうございました。皆様の業務にお役にたてれば幸甚に存じます。